

ソプラノとピアノのデュオによる

珠玉のオペラアリアと クリスマスソング



ソプラノ

工藤 あかね



ピアニスト

中村 和枝



❄️ クリスマスソング

Silent Night, The First Noel, Amazing Grace など

❄️ ピアノソロ

ショパン「ノクターン遺作20番、嬰ハ短調」、ショパン「ワルツ遺作19番、イ短調」など

❄️ 歌曲

サティ「潜水人形」全5曲、サティ「エンパイア劇場の歌姫」など

❄️ オペラアリア

モーツァルト「フィガロの結婚」より「ケルビーノのアリア”恋とはどんなものかしら”」
モーツァルト「フィガロの結婚」より「伯爵夫人のアリア”愛の神よ照覧あれ”」
ワーグナー「タンホイザー」より「エリーザベト”歌の殿堂のアリア”」
プッチーニ「ラ・ボエーム」より「ミミのアリア”私の名はミミ”」
プッチーニ「蝶々夫人」より「蝶々夫人のアリア”ある晴れた日に”」など

日時 2017年12月21日(木)
開場 17:00 開演 17:30 終演予定 19:00

会場 東京工業大学 すずかけ台キャンパス
大学会館3階 多目的ホール

交通 東急田園都市線「すずかけ台駅」から徒歩4分程度


主催 工学院, 物質理工学院, 環境・社会理工学院

入場無料

230席

未就学児童の入場は
お断りいたします





東工大コンサートシリーズ 第1回 すずかけ台キャンパス演奏会

本演奏会は、2015年から始まった東工大コンサートシリーズ（Art Meets Engineering@TokyoTech）の第1回・すずかけ台キャンパス演奏会です。本演奏会では、「ソプラノとピアノのデュオによる珠玉のオペラアリアとクリスマスソング」と題し、二人の気鋭の在京演奏家によるクリスマスソングやオペラアリアを中心とした名曲の数々をお届けいたします。しばし日常を忘れ、珠玉のひとつときをお楽しみください。

出演者プロフィール

ソプラノ 工藤 あかね

東京藝術大学卒業。近年はおもに世界初演、日本初演を含む近現代作品を手がけている。2011年のリサイタル「Secret Room」では、シュトックハウゼン「ティアクライス（十二宮）」にみずから振付を施し、同作に「踊るソプラノ版」という新解釈を拓いた。2015年、サントリー芸術財団「サマーフェスティバル」出演。TWS 主催「Tokyo experimental Festival Vol.10」では無伴奏リサイタル「Secret Room Vol.2《布と箱》」を上演。2016年のリサイタルでは、サティ「ソクラテス」管弦楽版をヴァーチャルオーケストラで上演し、一人四役を演唱した。またピアノの藤田朗子とデュオ「タムユラ」を結成し、シュルホフやウルマンの歌曲およびヴィエルヌ「憂鬱と絶望」「ボードレールの5つの詩」の蘇演、ワーグナー「ヴェーゼンドンク歌曲集」、シェーンベルク「架空庭園の書」、メシアン「ハラウィ」などを手がけている。2017年秋以降は、第21回テッセラ音楽祭にてシェーンベルク「グレの歌」第1部全曲の一人三役、バリトン松平敬との共同企画「回転 / 散乱～松平頼暁をめぐって」に出演。2018年は谷崎潤一郎原作の新作オペラ「The Key- 鍵」（作曲：フランチェスカ・レロイ、妻 郁子役）に出演予定。第一回 一柳慧 コンテンポラリー賞受賞。

ピアニスト 中村 和枝

武蔵野音楽大学卒業後、JML 入野義朗音楽研究所にて研鑽を積む。第3回日本現代音楽ピアノコンクール、第3回スペイン・シッチェス20世紀音楽コンクール、共に優勝。国内の多くの現代音楽演奏会にソリストとして出演。海外に於いても、ワルシャワの秋、ISCM 世界音楽の日々、ダルムシュタット夏期国際講習会、バルセロナ・サラマンカ20世紀音楽祭、ルクセンブルク国際現代音楽週間、ソウル・パンミュージックフェスティバル等の音楽祭で演奏・録音を行っている。作曲家・山本裕之と共に現代音楽ユニット“claviarea”を結成し、現在までに13企画22公演を行っている。2017年5月にはトロンボーン奏者・村田厚生とのユニット“コンテンポラリー・デュオ”で、スイス・ドイツの5都市でリサイタルとレクチャーを行う。ALM レコードよりCD《to you from...》《松平頼暁・24のエッセイズ》をリリース。レコード芸術誌特選盤に選出される。尚美ミュージックカレッジ講師。現代ピアノ作品を演奏するピアニストグループ“ピアノのアトリエ”主宰。